

平成25年度「油化学シンポジウム in 和歌山」

～シャンプー、化粧品などの生活用品や食品のユニバーサルデザイン～

主催：日本油化学会 関西支部

共催：財団法人 油脂工業会館

日時：平成25年7月5日（金） 13:00～17:00

場所：花王（株）和歌山工場 厚生棟 2F 東ホール（住所：和歌山市湊 1334）

交通：南海電鉄「和歌山市駅」からタクシーで10分

JR「和歌山駅」からタクシーで20分

JR「和歌山駅」東口より日本油化学会 関西支部の送迎バスを予定（12:15頃出発）。

<演題>

1. 超高齢社会におけるユニバーサルデザイン（UD）の重要性（13:10～14:10）

一般社団法人 人間生活工学研究センター 事務局長 畠中 順子 氏

超高齢社会を迎えて、さまざまな業種・業界で、ユニバーサルデザインなど「人にやさしいものづくり」への関心が高まっています。この講演では、加齢による身体機能の変化を中心に取り上げ、「人にやさしいものづくり」を科学的に進めるためのデータや活用事例を紹介します。

2. 生活用品の環境とユニバーサルデザインを考慮した容器開発（14:15～15:00）

花王（株）包装容器開発研究所 主任研究員 鈴木 英哉 氏

本品容器のリユース化と廃棄ゴミの削減でサステナブルな社会に貢献するために、使い勝手の良い洗剤や化粧品の詰め替え・付け替え容器の開発を進めている。また高齢化社会の進行に伴い、消費者視点での商品の識別性や使い易さの向上と、安心・安全を意識したユニバーサルデザイン視点での“よきものづくり”を進めている。本講演では環境とユニバーサルデザインを考慮した特長ある容器の開発事例について紹介する。

3. 介護食品を取り巻く環境とユニバーサルデザインフードについて（15:05～15:50）

～介護食における様々な規格基準や商品のご紹介～

日清オイリオグループ株式会社 中央研究所

ヘルシーフーズ・栄養生理グループ チーフ 荒川 亮 氏

高齢化が進む日本においては、年々、介護関連市場への注目度が高まっています。特に介護食品は種類が豊富で、食べやすいもの、味がおいしいものが増えており、その開発技術は世界に先駆けて進んでいます。また、介護食品に対する規格基準も細やかに定められています。本講演では現在のトレンドを交えながら、こうした介護食品や規格基準についてわかりやすくご紹介します。

<見学>

・花王エコラボミュージアム見学（花王（株）和歌山工場内）

（16:00～17:00）

参加要領：

参加費：無料（定員80名）

申込み方法：氏名、所属、連絡先、送迎バス希望の有無を明記の上、
6月24日（月）までにE-mail、またはFAXにてお申込みください。

申込先：〒640-8580 和歌山市湊 1334

花王（株）和歌山事業場 ハウスホールド研究所 森井 まで

TEL：073-426-7926、FAX：073-426-7927、E-mail：morii.noriyuki@kao.co.jp